### 県内総合

# 

# 吉里吉里漁港の性能照査 帰沿岸広域漁港施設の機能維持へ

県沿岸広域振興局は26日付で、 条件付一般競争入札で実施する 「吉里吉里漁港静穏度解析及び耐 震・耐津波性能照査業務委託」を 公告した。申請書の提出期限は7 月4日正午で、入札は同月11日に 行われる。(関連7面)

この業務は、吉里吉里漁港を対 象に、水産物の生産・流通及び防 災上重要な施設の選定と、耐波浪 ・耐震・耐津波性能の照査などを 行うもの。主な業務内容は、静穏 度解析一式、防波堤等の耐波浪・ 耐震及び耐津波性能照査一式、土 質調査一式などで、委託期間は16 0日間を予定している。

漁港内の静穏度解析を行うこと で水産物の生産上重要な岸壁及び 防波堤を選定し、選定した岸壁及 び防波堤について、既存の断面が 発生頻度の高い津波(L1津波) と、その津波を生じさせる地震動 (L1津波地震動)及び発生頻度

の高い地震動(レベル1地震動)

本吉室根線の津谷川地区は、20

することとした。 書の提出期限は7月4日正午で、 入札は同月13日に行われる。(関

ニュースの

お知らせは

〒020-0015 盛岡市本町通3-9-33

本社編集部へ

TEL (019) 623-8201

FAX (019) 623-8204

に対し、耐震・耐津波性能を有し

ているか照査を実施する。その結

果、耐震・耐津波性能を有してい

ないことが判明した場合、最適な

構造形式を総合的に判断して、1

施設当たり1断面を選定し、概算

東日本大震災によって漁港施設

が甚大な被害を受け、漁船の係留

や水産物の陸揚げなど重要な機能

の多くが喪失。水産業の早期再開

に支障を来している。県では、今

後想定される地震・津波に対して

漁港施設の被害を最小限に抑える

とともに、津波発生後の波浪など に対して漁港施設の機能を維持で

きるよう検討を進めていく必要が

あることから、今回の業務を実施

工事費などの検討を行う。

連7面) この業務は、緊急輸送道路・復 興関連道路に架かる垂水橋と白木 沢跨線橋の2橋を対象に、耐震性 能を確保するよう耐震補強設計を 行うもの。主な業務内容は、下部 工復元設計、橋脚耐震補強設計、 落橋防止システム設計、桁端部・ 支承廻り計測、概算工事費の算出 などで、委託期間は131日間を予 定している。

対象となる橋梁は次の通り。橋 梁名に続き①路線名②所在地③上 部工形式④下部工形式⑤橋長⑥架 設年次一の順。

▽垂水橋①一般県道崎浜港線② 大船渡市三陸町越喜来字大平地内 ③ P C T桁橋④重力式橋台、T式 角柱⑤39.6~流⑥1973年

▽白木沢跨線橋①一般県道吉浜 上荒川線②大船渡市三陸町吉浜字 沖田地内③単純PC床版橋④逆T 式⑤18.3~61959年

## 青山住宅新築を公告 =日本政策金融公庫= 申請期限は7月12日

日本政策金融公庫は25日付で、 一般競争入札で実施する「盛岡支 店青山住宅新築工事」を公告した。 申請書の提出期限は7月12日午後 3時で、入札締切は8月27日正午。

同工事では鉄筋コンクリート造

野々田地展岸壁の電気防食補修など =26日付で県、申請期限は7月4日=

一般競争で青山住宅新築を公告

手代森トンネル電源設備を公告 | 🏭 🏭 🏯

旧盛岡競馬場跡地の 交流広場等整備など

=盛岡市財政課=



## 三陸沿岸地区設計 業務など2件公告

県沿岸広域振興局26日付で、条 件付一般競争入札で実施する吉里 吉里漁港静穏度解析及び耐震・耐 津波性能照査業務委託を公告し た。入札参加希望者は入札参加申

請書を電子入札システムにより7 月4日正午までに提出すること。

入札は11日を予定している。 ▽吉里吉里漁港静穏度解析及び耐

震・耐津波性能照査業務委託 施行地 大槌町吉里吉里地先及び

地内 期 限 160日間

業務内容 静穏度解析 1 式、防波 堤等の耐波浪、耐震及び耐津波 性能照查1式、土質調查1式 入札参加資格 次に掲げるアおよ びイの要件を満たしているこ と。ア・土木関係建設コンサル タントに登録され、水産土木業 務を申請業務としていること。 イ・地質調査に登録され、地質 調査業務を申請業務としている こと。2008年4月1日以降に、

(7面へつづく)

## 千厩一藤沢間を調査

### =一関土木センター= 国道456号の道路現況

県南広域振興局土木部一関土木 センターでは、一関市千厩町、藤 沢町の国道456号での道路現況調 査、同市藤沢町津谷川の主要地方 道本吉室根線での道路予備設計、 平泉町長島の主要地方道一関北上 線で数値図化を進める計画だ。そ れぞれの個所で今後、道路改良を 検討する上での参考としていく。 現在、関連業務が一関総務センタ ーから公告中となっている。

公告中の案件は、「一般国道456 号道路現況調査ほか業務委託」。申

請期限が7月3 日、入札が同月 10日で、翌11日 の開札を予定し ている。121日 🛭 間の履行期間 で、道路現況調 查14.7%、道路 予備設計0.2 ≒、数值図化1. 31平方指、資料 調査1.22%を業 務内容としてい

概要を見ると、国道456号は、 国道284号との交差点~宮城県境 までの14.7%について、道路現況 調査を行う。道路、交通状況の現 況や将来動向を見ながら、道路改 良の必要個所を調査していく。な お、区間のボトルネック個所とし て、千厩と藤沢の境の急カーブ、 急勾配、藤沢地区の市街地の曲線 部分、さらには県境部などが挙げ られる。

0~20元区間について一車線で、急力 ーブとなっているため、線形改良 や拡幅の実施に向けて、既存の空 中写真測量成果を元に地形図を作 成。道路予備設計により最適路線 の選定、工事の施工性、概算工事 金額等の総合的な検討を行った上 で路線計画を提案、公図などを元 に対象用地の資料調査も行う。

一関北上線の長島地区に関して は、一般県道相川平泉線との交差 部前後の2.7%を対象に、数値図 化を図る。現道の線形が悪く、急 カーブや幅員の狭い個所も認めら れるため、道路設計の資料として、 既存の空中写真測量成果を元に地 形図を作成する。



数値図化を図る長島地区

## 管内2橋を対象に =大船渡振興センター=

## **橋楽佣強設計を公告**

県沿岸広域振興局大船渡地域振 興センターは26日付で、条件付一 般競争入札で実施する「一般県道 崎浜港線垂水橋ほか1橋橋梁補強 設計業務委託」を公告した。申請

4 階建て、延べ床面積約1780平方 行の共同住宅の新築と、既存建物 の解体工事を行う。工期は2020年 3月2日までを予定している。 設 ⟨ 計は相和技術研究所が担当した。

# いわて防災学教室 災害から学び、災害に備える



## 地区防災計画制度の普及による 地域防災力の向上を目指して

岩手大学農学部森林科学科教授

近年、日本全国で大きな自然災害が続いている。 このような災害への対応は、行政による「公助」に は限界があることが、近年の大規模災害の経験から 明らかになっている。これを踏まえ、平成25年の災 害対策基本法の改正で、地区居住者等による自発的 な防災活動に関する計画制度である「地区防災計画 制度」が創設された。しかし、本制度の創設から3 年で、計画が策定済みの市町村は全国で3地区のみ となっており、普及が進んでいないのが現状である。 そこで、地区防災計画に向けた活動が行われている 全国及び岩手県の事例において、聞き取り調査等を 行い、制度の普及への課題について検討した。

調査を行った地域では、地域の特性を考慮した活 動が熱心に行われていることが分かった。たとえば、 仙台市片平地区は防災活動をまちづくりの一環とし て捉えている点が特徴的である。地域の小学校や大 学と連携し、まちづくりを主体として防災を織り込 んだ活動を行うことで、子供や若者が積極的に参加 できる工夫がされている。一方で活動が沈滞化して いる地区もあった。地域防災力の向上を目指す上で 重要なのは、地域住民同士の交流を深め、自分の地 域をより深く知ることであり、地域活動のきっかけ として地区防災計画が機能することが期待される。

また行政側の課題として三つの課題があげられ た。①職員の不足:聞き取り調査およびアンケート 調査どちらでも多く聞かれた課題である。他部署と 連携するなど市町村全体で取り組む姿勢が必要とな ってくる。②制度の理解度の低さ:市町村職員、地 区住民双方に言える課題である。制度自体だけでな く自助・共助の意識も不十分な地域がある。地区の 防災組織の活動の活性化など防災意識の向上が急が れる。③手続きなどの簡易化:地区防災計画は策定 までに多くの会議や書類作成が必要であり、職員不 足が深刻な現状では取り組みにくい。手続きや書類 の簡易化が本制度普及の一助となりうる。

地区住民側の課題として三つの課題があげられ た。①過疎化、高齢化:特に農山村地域では深刻な

問題である。高齢者をうまく活用する、PTAなど の他組織を活用するなど人材確保に工夫が必要であ る。②次世代育成:現在の防災リーダーは活動的で あっても、その人の次を担う人材がいないことが聞 き取り調査で浮き彫りとなった。市町村の防災リー ダー育成講座などを活用して次世代育成に努めるこ とが急がれる。③訓練などの内容の工夫:地区で防 災活動などをしていても形骸的なものばかりで参加 にメリットを感じられなく、特に忙しい若い世代な どは参加から遠ざかってしまう。より内容の濃い活 動を行うために、訓練内容などの工夫が必要である。

「防災だけ」ではなく「防災にも」強いまちづく りを行っていくことが今後の地域防災を進めていく うえで重要になる。日常に何げなく取り入れ、まち の魅力や日常生活と防災が両立することが望まれ る。地域のイベントに防災を組み込むことや、また 観光として防災を取り込むなど人々が関わりやすく なる工夫が必要である。そのためにも行政、地区住 民だけでなく企業や教育機関との連携というものが 今後の課題となってくる。住んでいる人の年齢や産 業、地形特性、文化などその地域ならではのものを 生かし、その地域に合わせた活動、計画を行い持続 可能なものを行っていくことが大切である。

本調査は平成29年度岩手県県民協働型評価推進事 業の助成を受けて実施した。文末に記載したホーム ページに報告書全文が掲載されている。調査実施に あたり、岩手県政策推進室、総合防災室、全国先進 地及び岩手県の市町村防災担当者ならびに防災リー ダーの皆様に御礼申し上げます。なお、小原孝一さ ん (現国交省新庄河川事務所)と平門由佳子さん(現 林野庁東大雪森林管理支署)の卒論の一部としても 取り組んだものであり、二人に謝意を表します。

平成29年度岩手県県民協働型評価推進事業「地区防 災計画制度の普及による地域防災力の強化方策の検 討」(http://www.pref.iwate.jp/seisaku/hyouka/kenmin/ 060577.html)

●庭園樹 ● 造園設計·施工 ●土木工事一式

盛岡市指定下水道工事店

お気軽にご相談下さい 本 社 盛岡市下太田下川原136-1 電話658-1100代

# 外構資材販売

空洞ブロック・インター・平板・透水製品

TEL 019-687-2036 FAX 019-687-2037

製造盛岡沿ッツート協業組合

## 調査・開発工事からメンテナンスまで

さく井・温泉掘削 井水・温泉設備 地中熱 地盤調査 滝沢市鵜飼笹森10



### キャタピラーのICT建機 はじめようi-construction

岩沼ICTセンターで実機を体感! CPDSセミナー実施中

※ お申込みは最寄営業所までお問い合わせください。

## 日本キャタピラー 東北支社

北 支 社 宮城県仙台市青葉区中央四丁目6番1号 Tel 022-714-3113 岩 手 支 店 岩手県滝沢市大釜大畑73-1

Tel 019-687-1115 Tel 019-687-1111 盛 岡 営 業 所 岩手県滝沢市大釜大畑73-1 北上営業所 岩手県北上市相去町平林27番45 Tel 0197-67-6000 水 沢 営 業 所 岩手県奥州市水沢区真城字土手根106 Tel 0197-24-7174

詳細はこちらからご覧いただけます。 www.nipponcat.jp/lp/ict-upgrade/

岩手県釜石市甲子町第10地割159番地2 Tel 0193-27-2211 岩手県宮古市田鎖第8地割4-1

岩手県大船渡市立根町字前谷地13-4 二 戸 営 業 所 岩手県二戸市金田一字八ツ長179-2 久慈営業所 岩手県久慈市湊町15-34-2

日本キャタピラー 検索

TEL 0193-69-2840 TEL 0192-27-5150 TEL 0195-29-1155 Tel 0194-52-3821

日本キャタピラー